

2020 年度事業報告

2020年4月1日～2021年3月15日

東京学芸大学次世代教育研究センター

1. 研究活動

(1) プロジェクト

- ・在外教育施設における教育実習プログラムの開発（担当：岩田康之）
- ・教育実習プロジェクト（担当：櫻井眞治・宮内卓也・松崎尚文）
- ・学びの目的に関する研究（担当：金子真理子）
- ・中途入職教員に対する研修と処遇（担当：前原健二）
- ・学校と外部機関の連携と教育の公共性に関する研究（担当：上杉嘉見）
- ・教員養成大学・学部における大学教授職の在り方と組織開発（担当：下田誠）
- ・大学で附属学校の教員が学生に支援する、基礎実習における実験授業の検討と指導（担当：宮内卓也）
- ・教員養成における実践的プログラムの運営に関する研究（担当：岩田康之）
- ・教員養成の構造変容に関する研究（担当：岩田康之）
- ・教員養成カリキュラムの検証—創成期の東京学芸大学卒業生に対するインタビュー調査をもとに—（担当：金子真理子）

(2) シンポジウムおよびセミナー

- ・教育実習研究シンポジウム「COVID-19流行下の教育実習」

Zoomによるオンライン接続（2020年12月11日）

主 催：東京学芸大学次世代教育研究センター（FD研修認定）

開会挨拶：南 道子

趣旨説明：宮内卓也

報 告：名淵浩司（東京学芸大学附属世田谷小学校教諭）

加藤英明（東京学芸大学附属竹早中学校主幹教諭）

金指紀彦（東京学芸大学附属高等学校教諭）

全体協議：(1) COVID-19流行下における教育実習の実施状況、課題と工夫

(2) 本年度の教育実習を終えて、今後に向けての課題

総 括：櫻井眞治

- ・第2回公開セミナー

Zoomによるオンライン接続（2021年2月27日）

主 催：東京学芸大学次世代教育研究センター

報 告：上杉嘉見

題 目：「学校と外部機関の連携をコマーシャリズム、コンシューマリズムから読み解く—北米での事例と議論から—」

コメンテーター：両角達平（国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター研究員）

報 告：三石初雄

題 目：『令和の日本型学校教育』構想と『個別最適な学び』の可能性と課題

コメンテーター：梶井芳明（東京学芸大学教育心理学講座准教授）

・研究プロジェクト公開セミナー

Zoomによるオンライン接続（2021年3月2日）

主 催：東京学芸大学次世代教育研究センター

報 告：小林晋平（東京学芸大学物理科学分野准教授）

題 目：「面白がる力を育てるために～「学ぶ星」構想～」

(3) 客員教授研究会

・国内客員教授研究会

三石初雄東京学芸大学名誉教授

第1回（2020年6月16日）

題 目：「高度専門職養成政策と教職大学院」

報告者：三石初雄

第2回（2020年7月14日）

題 目：「教職大学院発足当時とその後のカリキュラム改訂」

報告者：三石初雄

第3回（2020年9月7日）

題 目：「専門職課程としての教職大学院のカリキュラム編成改訂と課題」

報告者：三石初雄

第4回（2020年10月13日）

題 目：「次期学習指導要領への胎動—企画特別部会『中間まとめ』の検討—」

報告者：三石初雄

第5回（2020年11月17日）

題 目：「9年制学校教育改革と教師教育政策—教員養成部会『審議まとめ』の検討—」

報告者：三石初雄

第6回（2020年12月15日）

題 目：「『令和の学校教育』の検討動向—教育課程部会と教員養成部会での議論1—」

報告者：三石初雄

第7回（2021年1月26日）

題 目：「『令和の学校教育』の検討動向—教育課程部会と教員養成部会での議論2—」

報告者：三石初雄

(4) 研究交流活動

・第34回日本教育大学協会教育実習研究部門研究協議会

「新型コロナ禍での教育実習」於オンライン（2020年10月9日）

常任理事（事務局）を担当（教育実習プロジェクトチーム）

- ・東京地区国公立大学教職課程研究連絡協議会 常任運営委員校を担当
年10回の運営委員会に参加、年2回の研究大会を企画開催（教育実習プロジェクトチーム）

2. 教育活動（教育実習プロジェクトチーム）

- ・教育実地研究後において教育実習委員会より補充指導等を依頼された学生の指導
- ・3年次教育実地研究Ⅰ・4年次教育実地研究Ⅱ、選択実習のメンタルヘルス支援
- ・1年生（教育支援系）教育実習ガイダンス（中学・高校実習1回）
- ・2年生教育実習ガイダンス（小学校実習は中止、中学・高校実習3回）
- ・3年生教育実地研究Ⅰの事前指導共通講義（小学校実習4回、中学・高校実習1回）
 - * COVID-19流行下のため、2020年度は回数を変更して実施
- ・4年生教育実地研究Ⅱオリエンテーション共通講義
 - * COVID-19流行下のため、2020年度の教育実地研究Ⅱは中止
- ・4年生選択実習直前指導（小学校実習1回、中学・高校実習4回）
- ・担当授業 観察実地研究、教職入門、中等理科教育法Ⅲ

3. 社会貢献活動

- ・教育委員会等に対する支援（教育実習プロジェクトチーム）
東京都小学校社会科研究会、新宿区小学校教育研究会、新宿区立西戸山小学校、武蔵野市立境南小学校、江戸川区立一之江小学校、横浜市立青木小学校、成城学園初等学校、鳥取県教育委員会、品川区中学校理科教育研究会

4. 研究助成

(1) 特別教育研究推進経費（特別開発研究プロジェクト）

- ・「在外教育施設（日本人学校小学部）における教育実習プログラムの開発研究」（2019～2020年度）プロジェクトリーダー 岩田康之
- ・「大学で附属学校の教員が学生に支援する、基礎実習における実験授業の検討と指導」（2019～2020年度）プロジェクトリーダー 宮内卓也

(2) 科学研究費助成事業

- ・基盤研究（C）「学びの目的に関する研究—「理科」と「社会科」の間—」（2018～2022年度）研究代表者 金子真理子
- ・基盤研究（C）「ワーク・ライフ・バランスの視点を踏まえたドイツの教員研修改革の比較制度論的探究」（2019～2021年度）研究代表者 前原健二
- ・基盤研究（C）「カナダの消費者教育における商業広告学習の教材史研究」（2017～2020年度）研究代表者 上杉嘉見
- ・基盤研究（C）「義務教育段階における理科／科学教育における『価値選択的課題』の実証的国際比較研究」（2020～2022年度）研究代表者 三石初雄
- ・基盤研究（A）「対応困難な保護者とのトラブル事例分析と紛争化の防止及び解決支援に関する学

- 際的研究」(2017～2020年度)研究分担者 岩田康之 (研究代表者 小野田正利)
- ・基盤研究(B)「「教える」専門家の養成を学問として構築する「教育学」モデルの研究」(2019～2022年度)研究分担者 岩田康之 (研究代表者 生田久美子)
 - ・基盤研究(C)「テーマ型・総合型の教育活動を推進する教員の資質能力に関する日独比較研究」(2020～2022年度)研究分担者 金子真理子 (研究代表者 望月耕太)
 - ・基盤研究(C)「教職キャリアの多様化を見据えた「中途入職教員」活用に関する教育行政施策の研究」(2019～2021年度)研究分担者 前原健二 (研究代表者 青木純一)
 - ・基盤研究(B)「歴史教師のプロフェッショナルコンピテンシーを高めるベリーフ研究の再構築」(2019～2021年度)研究分担者 上杉嘉見 (研究代表者 宇都宮明子)
 - ・基盤研究(C)「学びの目的に関する研究—「理科」と「社会科」の間—」(2018～2022年度)研究分担者 三石初雄 (研究代表者 金子真理子)

5. その他の活動

(1) 教育・研修プログラムの開発

- ・キャンパス・アジア「東アジア教員養成国際大学院プログラム」におけるダブル・ディグリープログラムの開発・運営に、キャンパス・アジア推進室・室員として参画(下田誠)
- ・教員養成開発連携センター研修・交流支援プロジェクトにおける「教員養成ならではの大学教職員PDプログラム」の開発・運営に同センター兼担として参画(下田誠)